

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	次のステップに向けて期待したい内容
1.理念に基づく運営						
1	①	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ほぼ出来ている 毎朝の朝礼にて法人理念「共生」 事業所の方針「楽しくなければ座々じゃない」を復唱し全職員が周知徹底できるようにし日々の業務につなげている。	・日々継続することは大変なことと思います。今日の項目等、素晴らしい取り組みとします。今後も継続して頂けたらと思います。 ・朝礼にて当日スタッフが理念共有を実践され日々の業務につなげているのが素晴らしい。	A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない	
2	②	○事業所と地域とのつきあい 事業所は利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ほぼ出来ている 地域事業の参加（菜の花の種まき等）、この一年についてはコロナ禍であり直接的な交流は難しい状況でありリモートを通じた交流を行っている。	・常に地域の行事を含め情報収集をされ積極的に関わろうとされている。今季はコロナ禍で参加が難しいことが多かったと思う。 ・コロナ終息後もリモート交流の機会が増えると良いと思う。 ・コロナ禍にもかかわらず今できる事に目を向けて取り組まれていると思います。	A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない	施設でのご利用者の日常的な生活や介助の現状等地域への情報発信や地域の方々への理解と協力を求める事も必要かと思えます。地域の行事については、どのように関わって行くのかその意向を表現選択することも必要であると思われます。津屋崎小学校の児童との交流は継続して行って頂きたい。コロナ終息後は地域の学生、ボランティア等の活動の復活。今後も地域の行事に参加が難しい状態のご利用者様もリモートを通じての参加、体験が出来たらよいのではないかと思います。座々からも別紙にて提案があります。（1月案内状添付書類）
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ほぼ出来ている 認知症啓発事業や認知症セーフティーネットワーク「蓮華草」を通じて地域の方々へ認知症の理解を深める活動を行っている。			

4	③	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ほぼ出来ている 2ヶ月に一回実施、今年度はコロナ禍であり書面にて開催とさせて頂く事もあり、事業所の現状報告や取組についての意見交換を行っている。</p>	<p>・外部評価にかかわる情報を年間を通じて運営推進会議の中で開示して頂けたら各委員として評価がしやすくなると思います。また職員の自己評価がどうであったのか開示して頂きたいです。(例ほぼ出来ない〇人等) ・地域委員の方に分かりやすく資料作成、説明され、また意見が出来る様に声掛けされている。</p>	<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	
5	④	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>ほぼ出来ている 認知症セーフティーネットワーク「蓮華草」に加盟、参加、啓発活動にも参加。運営推進会議には行政担当者、認知症推進委員の方々にも参加頂いている。</p>	<p>疑義ある点は問い合わせを頂いている。不明な点があった時は相談していたり、実情やケアサービスの取り組みについても積極的に伝わるようにされている。</p>	<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	
6	⑤	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>ほぼ出来ている 3ヶ月に1回身体拘束廃止委員会を開催し委員会での取り組みについて全職員に周知し身体拘束についての確認を行い、理解を深めるように努めている。</p>	<p>・安全対策との兼ね合いが難しいところと推察します。心理的面は個人差もありますが振り返りシートを活用して声掛け等職員間で共有して下さい。 ・スピーチロックについて取り組まれている事は以前から運営推進会議のときにお聞きしています。定期的に身体拘束についての共有理解の機会も設けられている。</p>	<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	<p>スタッフの方々の個人の意識のみで行えるものでは到底なく、職場の雰囲気や困り事を相談できる人間関係がある事も大切かと思えます。事業所スタッフの方皆様のご協力の上の取組みと思えます。座々から別紙にて提案があります。(1月案内状添付書類)</p>

7		<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ほぼ出来ている 高齢者虐待防止関連法について全職員が理解し、見過ごしや虐待を行うことがないように周知徹底に努めている。</p>			
8	⑥	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>ほぼ出来ている 法人内外部研修に参加し理解を深めるように努めている。</p>		<p>A.充分できている <input checked="" type="radio"/> B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	
9		<p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分に出来ている 契約の際には多少時間をかけ、すべて書類を説明し、ご家族の不安や疑問点について懇切丁寧に説明を行い、理解納得していただけるよう努めている。</p>			

10	⑦	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ほぼ出来ている 苦情や相談窓口を設け意見を頂ける環境作りに努めている。、年に一度は家族会を開催し意見交換を行う場を設けている。(コロナ禍にて開催出来ない)</p>	<p>・3回目接種を目途とする等状況を見つつ意見交換の場を設けて頂けたらと思います。</p>	<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	
11	⑧	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>あまりできていない コロナ禍にて年に一度の法人の代表者、統括施設長を交えてのフリートーキングの実施や職員全体会議での意見交換が行えていない。フロア会議やリーダー会議等少人数での会議のみ開催できておりその機会に意見、要望を延べる場を設けている。</p>	<p>・フロア会議やリーダー会議等ご利用者の処遇に関する会議の場が活用されているとの事ですが現場の声がコロナ禍でも反映できるよう今後も期待します。</p>	<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	
12		<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>充分に出来ている 年二回全職員との面談を行い、課題解決、相談等聞く機会を設けている。</p>			

13	⑨	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮し生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している</p>	<p>十分に出来てい</p> <p>採用職員の就職後のサポートを行い能力が十分に発揮でき活躍できるようにしている。年齢、性別、資格の有無に関係なく採用している。法人内異動もあり。</p>	<p>・生き生きとされている。笑顔で優しく接している。</p> <p>・職員の方々のやりがいや思いやりを持って日々の業務に取り組まれている事、少なくともお会いしたことのある職員の方からは十分に伝わります。</p> <p>・就職後のサポート体制がしっかりされていて入職後の不安解消に努めている。</p>	<p>A.充分できている</p> <p>B.ほぼできている</p> <p>C.あまりできていない</p> <p>D.ほとんどできていない</p>	
14	⑩	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>ほぼ出来ている</p> <p>法人の基本理念に「人倫を尊重して人としての尊厳の確保」を掲げており、ご入居者に対し人権を尊重し、尊敬の念を持って接している。</p>	<p>・常に寄り添った対応をされている。</p> <p>・人権尊重はある意味「永遠のテーマ」であるといっても過言ではない程これで十分とはならない課題と捉えています。</p>	<p>A.充分できている</p> <p>B.ほぼできている</p> <p>C.あまりできていない</p> <p>D.ほとんどできていない</p>	
15		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ほぼ出来ている</p> <p>コロナ禍にて研修参加は難し状況である。職員一人一人のケアの実際と力量の把握に努めている。</p>			

16		<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>あまりできてい コロナ禍であり相互間の訪問等出来ていない が他事業所との情報交換を行いサービスの質の向上に努めている。</p>			
----	--	---	--	--	--	--

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

17		<p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>十分に出来ている 入居前にご本人と面談にて困りごと等聴取し不安がないようご本人に寄り添ったご支援を行っている。</p>			
18		<p>○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ほぼ出来ている 入居前に、ご家族と面談を行い不安、困りごと等を伺い意向に添った支援が行えるよう努めている。</p>			

19		<p>○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ほぼ出来ている 事前にアセスメントを行い何が必要なのかしっかりと分析を行い支援を行っている。</p>			
20		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ほぼ出来ている ご利用者本位のケアの提供を目指し、共に支え合いながら、ご利用者の得意なことをいかし生活をしている。</p>			
21		<p>○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ほぼ出来ている 情報の共有を行い協力し合い利用者を支えている。</p>			

22	①	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ほぼ出来ている コロナ禍でありサークル活動の参加等できているが電話や面会等で継続できている。</p>	<p>・コロナ禍でも工夫され面会等の継続が行われている。</p>	<p>A.充分できている <u>B.ほぼできている</u> C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	
23		<p>○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>充分できている ご利用者同士の相性等考慮し楽しい時間を過ごして頂けるよう努めている。</p>			
24		<p>○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ほぼ出来ている 退居後の相談のフォローに努めている。</p>			

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

25	⑫	<p>○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。</p>	<p>ほぼ出来ている ご利用者との会話の中で希望や意向を汲み取り、その思いに添った暮らし方をして頂けるよう努めている。</p>	<p>・認知症がありなかなか自分の思いや希望をストレートに表現できない方へも工夫され寄り添っている。</p>	<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	
26		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用経過等の把握に努めている</p>	<p>ほぼ出来ている ご家族、ご本人に聴き取りを行い今までの暮らしを把握するようにしている。</p>			
27		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>ほぼ出来ている 職員間で情報の共有を行い、ご利用者の変化の把握に努めている。</p>			

28	⑬	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>充分できている モニタリングは毎月行い、また計画作成時にはご本人、ご家族の意向を確認し、フロア職員、多職種連携からの意見も聞きながら課題、ニーズの把握も行っている。</p>		<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	
29		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ほぼ出来ている 連絡ノート等で情報の共有を図っている。また日々の記録にて変化や気づきを記入している。</p>			
30		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ほぼ出来ている その時々に適した対応柔軟な対応を行えるようにしている。またその状況をご家族等に迅速に報告、対応を行っている。</p>			

31		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>あまり出来ていない コロナ禍であり地域の行事（祭りやイベント）の縮小や中止により参加出来ていない。</p>			
32	⑭	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>充分できている 受診はかかりつけ医に家族に付き添って頂くが、急な変化の時には職員が同行している。（コロナ禍であった為すべて職員同行にて受診）</p>		<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	
33		<p>○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ほぼ出来ている 医療連携体制を取り24時間オンコールにより利用者の健康管理に努めている。</p>			

34		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。 あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ほぼ出来ている 病院のソーシャルワーカーと密に連携を取り状態把握に努め、カンファレンスに参加し利用者にとってより良い状態で早期退院できるように医療機関との連携を図っている。</p>			
35	⑮	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ほぼ出来ている 重度化しつつある方に対して医療との連携を図り事業所で出来る事を説明している。</p>	<p>・ハード面で特浴がなかったり大変かと思いますが本人及び家族の意向を尊重しつつチームでよく取り組まれていると思う。</p>	<p>A.充分できている <u>B.ほぼできている</u> C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	
36		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ほぼ出来ている マニュアル作成や研修に参加したり急変時の対応がスムーズに行えるように努めている。</p>			

37	⑩	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ほぼ出来ている 毎月の自主訓練と年二回の消防署との避難訓練を行っている。初期消火や避難経路の確認、災害時の避難方法の指導も受けており運営推進会議で地域の方の協力をお願いしている。	・毎月の自主訓練は大変なことと思いますがぜひ継続して頂けたらと思います。 ・年2回の訓練時にはぜひ参加させて頂けたらと思います。	A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない	
----	---	--	--	---	---	--

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

38	⑪	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ほぼ出来ている お一人お一人の人格を尊重し、年長者に対しての敬意を払いご支援をさせて頂いている。		A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ほぼ出来ている ご本人の思いや希望を伺いその思いに寄り添ったご支援ができるように努めている。	/	/	/

40		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ほぼ出来ている 毎日食器拭きや台拭き等一緒に行っている。手作りランチの時には一緒に調理を行うなどご利用者が出来る事を行ってもらっている。</p>			
41		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>ほぼ出来ている できない所は支援させて頂き日々身だしなみには配慮している。年に数回化粧をし記念撮影を行ったり、手のマッサージやマニキュアを行うなどしておしゃれを楽しんで頂けるようご支援させて頂いている。</p>			
42	⑩	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>ほぼ出来ている 毎日食器拭きや台拭き等一緒に行っている。手作りランチの時には一緒に調理を行うなどご利用者が出来る事を行ってもらっている。</p>		<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	

43		<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>ほぼ出来ている ご利用者一人一人の状態に合わせた食事量、水分量を提供している。</p>			
44		<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>ほぼ出来ている 毎食後口腔ケアの実施、定期的に訪問歯科の利用、口腔内の清潔に努めている。</p>			
45	⑩	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、ここに応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>ほぼ出来ている お一人お一人の排泄時間の把握を行い（誘導表作成）、声掛けや誘導を行っている。</p>		<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	

46		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>ほぼ出来ている</p> <p>無理のない運動（廊下歩行等）腹部マッサージを行い、水分摂取をして頂き便秘の予防に努めている。</p>			
47	㊸	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p>	<p>ほぼ出来ている</p> <p>ご利用者お一人お一人のタイミングや希望に合わせて入浴支援を行っている。</p>		<p>A.充分できている</p> <p>B.ほぼできている</p> <p>C.あまりできていない</p> <p>D.ほとんどできていない</p>	
48		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>充分できている</p> <p>日中休息や臥床時間はそれぞれの生活ベースに合わせて実施出来ている。</p>			

49		<p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>ほぼ出来ている 服薬表にて毎回確認を行っている。</p>			
50		<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ほぼ出来ている お一人お一人に出来る事の役割を持っていたり、張り合いのある生活、行事やレクリエーションへ参加し気分転換を行えるようご支援を行っている。</p>	<p>・ご利用者の出来る事を引き出して共有する。そしてそれが実践されている事、何歳になっても生きがいを持ち生活出来ている事へとつながるものと思います。職員の方々のチームワークがあつてこそです。これからもチームワークでご利用者の新たな面を引き出して頂きたいと思います。</p>	<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	
51	㊸	<p>○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>あまり出来ていない コロナ禍であり外出があまり行えていない。</p>	<p>・コロナ禍だった為しょうがないと思います。</p>	<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	<p>・コロナ禍の乗車人数の制限緩和に伴いドライブに出掛ける事も出来るようになり、気候をみながら散歩にも出掛けている。</p>

52	○お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどできていない 数名しかお金を所持されていない。			
53	○電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ほぼ出来ている 数名の方は携帯電話を所持されておりご自由に使用されておられる。それ以外の方は希望がある時に電話の対応や手紙を出されている。			
54	㊸ ○居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共有の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないよう配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ほぼ出来ている 季節に合わせた壁画作りや季節の花を生けたり、環境整備を行い居心地のよい空間を作りに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ訪問しても素敵な客間だと思います。 ・庭にはお花も植えられ、いつも綺麗に掃除も行き届き、ご利用者の方々も安らいでいらっしゃると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない 	

55		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ほぼ出来ている ご利用者一人一人がご自由に過ごせるように工夫を行っている。椅子やソファの配置に気を配っている。</p>			
56	㊸	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>充分できている 馴染みの家具や写真、好きな置物等配置し居心地のよい空間を作れるように努めている。</p>	<p>・居室内はあまり見た事はありませんが工夫されている事と思います。 ・コロナ禍の為2年近く居室に入る事が出来ていない。</p>	<p>A.充分できている B.ほぼできている C.あまりできていない D.ほとんどできていない</p>	
57		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ほぼ出来ている バリアフリーになっており個人に合わせた場所の表示を行うなど工夫を行っている。</p>			

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

「IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)」全体表

令和4年1月(1階)

No.	タイトル	評価項目	利用者個票からの転記(自己評価のA、B、C、Dを記入)									記述
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)												
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができて いる	B	A	B	B	B	A	B	A	B	
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	B	A	B	B	B	A	B	B	A	
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができて いる	B	A	B	B	B	A	B	B	B	
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	B	A	A	B	B	A	A	A	A	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	C	B	B	C	C	B	C	C	B	
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	B	B	B	B	C	A	B	B	A	
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	B	B	B	B	B	A	B	B	A	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	C	C	B	B	C	C	B	B	B	
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	B	A	B	B	B	A	B	B	A	

「IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）」全体表

令和4年1月（2階）

No.	タイトル	評価項目	利用者個票からの転記(自己評価のA、B、C、Dを記入)									記述	
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）													
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができて いる	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができて いる	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができて いる	B	A	B	B	B	C	B	B	B	B	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができて いる	B	A	B	B	B	A	B	B	B		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことが できている	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加する ことができて いる	C	B	C	C	C	C	C	C	C	C	
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことが できている	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らし の中で得ることができている	C	B	A	B	B	B	B	B	B	B	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することが できている	C	B	A	C	C	C	C	C	C	C	
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい 日々をおくることができている	B	B	B	B	B	C	B	B	B		

(参考様式4)

事業所名津屋崎園グループホーム座々

作成日: 令和 4年 3月 10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ過の情勢で例年より交流の機会が減少している。座々での日常的な生活や介助の現状等を地域への発信をする為工夫を行う。	認知症についての知識や支援方法を共有し、事業所事態が地域の一員として自治会、行事等の地域活動に参加して交流を深める。	お声掛け、挨拶等を行い、顔見知りの関係を構築する事から初めて、地域の方々の集う機会や自治会等に参加して座々について情報を発信していく。法人の機関誌『あんず』を活用する。	12ヶ月
2	6	スピーチロックを長くテーマとして取り組んでいる。具体的言動についてやってきたが、幅広い部分ではまだ出来てない所もある。	振り返りシートの活用を今後も行い、出来ている部分は継続し、チームで話し合う機会を定期的に設けていく。新たな職員へ情報の共有を行う。	振り返りシートを活用してピンポイントで今月はここを特に気を付けよう。等の課題を設けて取り組んでいく。結果をフロア会議等を利用して再度、各々で反省、今後の活動に活かせる様にしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。